

# 島々の危機訴え

(2)

## 赤土流出防止要請団同行記

### 「農林水産省の非」

白保台一氏はまた「海をきれいにするには陸をどうするかだ。これは農林水産省の大きな課題。

農業構造改善事業を含めて農林水産省が本気にならなければならぬ。農水省が主導にならなければならぬ。尻をたいてでも働きかける」と話して積極的に働きかけていく考えを強調した。

石垣島をよく知る中村正三郎氏は、さらに单刀直入だった。

「(赤土流出の)原因ははつきりしている。本土方式の農業構造改善事業(土地改良事業)のやり方が間違っていたからだ」「(続けて)傾斜も本土並みで畑も道路(農道)

これまで一生懸命(土地改良事業を)やつたけど、残念ながら地域を破壊しているのではないかと指摘する。

今年六月二十六日に公布された土地改良法改正法は、そういう過去の反省を踏まえ、「環境と

となつたわけだ。要請団の佐伯信雄氏(赤土監視ネットワーク幹事)も雨水をいかに早く流すかというコンセプトだった」と指摘する。

今後は、これまで環境との調和。これまで環境との調和はゼロだと心を寄せていた。

予備知識があつたため心を寄せていた。

赤土問題の深刻さを理解してくられた。対応も積極的で何度も話し合つていい

る。特別なことをしていなかったといけない」と関係者も話す。事務局を呼んで何度も話し合つていい

る。特別なことをしていなかったといけない」と関係者も話す。事務局を呼んで何度も話し合つていい

る。特別なことをしていなかったといけない」と関係者も話す。事務局を呼んで何度も話し合つていい

## 土地改良

# 環境との調和が必要

田中農水副大臣 赤土対策事業に積極的に

非を認めていた」と断言

してはばかりない。

さて、当の農林水産省

の見解はどうだったか。

全国一律の土地改良

いう批判がどこにでもあ

る」と、土地改良のあり

方に問題があったことを

率直に認めた。

これまでの土地改良事

業は、例え沖縄では土

地の傾斜、土質、河川、

降雨、農業体系など地域

特性に配慮されなかつた

ため、赤土流出という環

境問題を引き起こす結果

代表的な石垣島

べ、石垣島をモデルケ

スとした事業導入に前向きな姿勢を打ち出した。

要請に先立つ今年四月、副大臣は田中真紀子外相の講演会(市民大学)に同行した際、県八重山支庁が九九年度から実施している赤土対策事業を視察した。その中で

「土地改良事業のやり方が間違っていた」と指摘する中村正三郎氏(中央)＝七日前、衆議院議員会館

